

事業番号	15 07 02	事業改善シート（令和元年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	社会教育施設事業費		部局 教育委員会事務局 課・室 文化財・生涯学習課 実施期間 S24 ~ E-mail bunsho@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)			
8つの重点目標			
総合的に展開する重点政策	1-4 生涯を通じて学べる環境の整備		

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】
	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館、市町村職員対象講座の増設や公民館支援専門アドバイザーの市町村訪問により公民館活動を支援 ・外部人材登用の館長のもと、地方創生の時代に対応した情報と人をつなぐ新しい図書館づくりの推進 ・健全な青少年育成のため、少年自然の家2所(望月、阿南)を指定管理制度により運営(H29:2所 42,615人利用)
	【目指す姿】
	<ul style="list-style-type: none"> ・学びたい人が、学びたいときに、学べるとともに、県民の主体的な学びの成果が蓄積されていく仕組みの検討 ・県立図書館を中心に、多様な情報や人がつながり、アイデアを形にしていける「知と創造の場」としての図書館づくりを推進 ・信州の特性を生かした自然教育・野外教育を展開する施設としての「少年自然の家」の機能強化




【実施内容】

生涯学習推進センター事業(信州・webカレッジ(仮称)創造事業)、県立長野図書館事業及び少年自然の家管理運営事業等

指標及びその達成状況 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし]						事業コスト	区分(単位:千円)	H30年度	R1年度
No	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値		達成状況		
1	生涯学習推進センター指導者養成研修受講者数	2,718人	2,728人↗	2,925人↗	2,800人	達成	前年度繰越	46,386	0
							現計予算	369,053	272,186
							合計(A)	415,439	272,186
							うち一般財源	239,646	233,457
2	県立長野図書館 県内公共図書館調査相談件数	84,690件	88,578件↗	85,011件↘	89,850件	未達成	決算額(B)	404,975	260,746
							職員数(人)	24.5	24.5
3	少年自然の家における自主事業実施回数	58回	68回↗	53回↘	60回	未達成			

成果指標設定理由	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進センター：現状を上回る数値を設定 ・県立図書館：現状を上回る数値を設定 ・少年自然の家：現状を上回る数値を目標に設定
----------	---

達成状況の分析	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進センター主催の講座の体系や内容を見直すことで、ほぼ県全域から受講者が集まり、目標を大きく上回る成果となった。 ・年度末に起こった新型コロナウイルス感染症拡大の影響により休館した館が多くなったため、目標件数を下回った。 ・少年自然の家主催の自主事業については、計画した日程が確保できなかったものがあり、目標回数を下回った。
---------	---

主な取組	✓ 生涯学習推進センターの講座を充実 「日本一の公民館活動を支えるセンターへ」という方向で、講座の内容を見直し、体系化して開催	
	✓ 県立長野図書館「信州・学び創造ラボ」の整備・運用 <ul style="list-style-type: none"> ・催し(ラボ・デザイン会議等運営ワークショップ、利用者による自主企画等) 172件 ・視察(県内外の公共図書館・学校図書館・教育委員会・大学関係等) 36件 ・取材(テレビ、Webメディア等) 23件 	
	✓ 少年自然の家の自主事業の実施 不登校児童・生徒も参加できる「信州ふれあい自然体験キャンプ」など、特性を生かした自主事業を展開	

2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進センターの目的である「日本一を誇る公民館等のレベルアップ、本県の強みである地域のつながりの維持強化」「地域を担う次世代の育成と、シニア層の参加促進による地域教育力の強化」をさらにすすめる必要がある。 ・県立長野図書館の重要な役割である市町村立図書館のサポートを地域の実情に合わせた形で推進していくために、サービスや収蔵資料のデジタル化を図りながら「これからの図書館」のモデルを提案していく。 ・少年自然の家を、様々な体験学習の拠点として位置づけ、指定管理者等と連携して様々な事業を推進し、「子どもたちが生きる力を育み、社会的な自立に向けた基礎を築くとともに、郷土や自然を大切にしながら社会の中で能力を十分に発揮できる教育」を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・講座検討有識者会議を設置し、外部有識者の知見とつながりを借りて、主催事業の計画、改善、深化を図る。 ・ICTを活用した図書館業務・サービスのあり方に関する検討と実践(例:信州ナレッジスクエアの活用促進、商用データベースの共同契約調整、電子図書館サービス導入検討等) ・施設の計画的な修繕、改修の実施、適切な受益者負担を踏まえた新しい料金体系の構築、県民への利用呼びかけ、国立信州高遠青少年自然の家やNPO法人等民間施設との関係強化を図る。

事業名	社会教育施設事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	文化財・生涯学習課
-----	-----------	----	----------	-----	-----------

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
1	生涯学習推進センター事業費	14,253 千円	11,730 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	インターネットによる情報提供事業	直接	・公民館活動を通じた学びの実践者からの事例の聞き取りや意見の聴取。 ・コンテンツや実施方法等について、有識者から意見を聴取し検討。
2	指導者養成等の研修事業	直接	・遠隔の市町村を考慮した移動講座の実施 ・住民相互の支援を基盤とする県政課題に対応する講座の実施 30講座（年度当初は27講座予定） 地域づくり推進研修 20講座 学校と地域の連携推進研修 1講座 地域の教育力向上研修 9講座
3	施設管理運営事業	直接	・生涯学習推進センターの管理・運営

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
2	県立長野図書館事業	205,419 千円	159,581 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	図書館改革事業	直接	・県立長野図書館「信州・学び創造ラボ」の整備、運用（H31.4.6オープン） 運営ワークショップ（主催） 10回 外部団体ワークショップ等 162回 視察・取材 59件 ・「信州発・これからの図書館フォーラム」の開催 10回 ・これからの図書館のあり方を示唆するような先進的な活動を行っている機関に授与される「Library of the Year 2019」優秀賞を受賞
2	コンピュータ管理事業	直接	信州に関するデジタルな情報基盤として「信州・知のポータル『信州ナレッジスクエア』」を構築
3	図書館事業	直接	・図書の貸出及びデータベース等による情報提供サービス ・市町村図書館の運営支援

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
3	青年の家・少年自然の家管理運営費	185,303 千円	89,435 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	少年自然の家運営事業（指定管理委託料）	指定管理	・指定管理者が青少年教育施設としての機能を維持・管理し、多様な体験プログラムの利用者への提供に必要な経費の一部を支出 ・指定管理者：望月・信州リゾート(株)、阿南・阿南町
2	少年自然の家運営事業（第三者評価委員会開催事業）	直接	指定管理者の望月少年自然の家の管理運営について、指定管理者制度に関するガイドラインに基づく第三者評価委員会を実施。
3	少年自然の家運営事業（特定建築物・特定建築物設備調査）	委託	少年自然の家について、建築基準法に基づく定期点検を実施。
4	少年自然の家修繕工事	直接	・望月少年自然の家：ボイラー改修工事 ・阿南少年自然の家：野炊場トイレ改修工事並びに体育館屋根、厨房床及び食堂床改修工事設計
5	旧長野県青年の家施設改修費補助金	補助金	旧須坂青年の家の解体撤去工事設計委託費について須坂市に補助金を交付。